

ミマキ電子部品株式会社

Mimaki Electronic Components Co.,Ltd.

2023/10/01

時代の発展とともに 進歩を求められる企業に。



代表取締役社長

高野 紘

めざましい発展を続けて行く産業社会。

私たちは電子部品の分野で、永年に亘り蓄積された生産技術を基礎に、水晶振動子用気密端子やダイオード、光技術関連デバイス等の低コスト量産化に取り組み、競争力を高めると共に、磨き抜かれた品質管理体制のもとで、高品質の部品を供給しております。さらに技術開発の分野では、より一層の軽薄短小化省エネを求める時代の声にお応えすべく、高密度実装デバイスに対応する実装技術やハーメ技術、光応用技術、LED技術等、積極的に新しい時代への適合を考え、高度な先端技術に向かってどん欲に取り組んでおります。私たちは、一人ひとりが持つ豊かな個性と多彩な能力をさらにいきいきと開花させながら、勇気と集中力とをもって立ち向かってまいりたいと思います。

人とともに成長するミマキ電子部品は、これからも技術と創造のドラマを醸成しつつ、産業界の発展に貢献してまいります。

経営基本方針

- 一、より積極的に顧客が求める製品を提供しつつ提案型企業を目指す。
- 一、社員一人ひとりの成長を願い、個人の幸せを通じて、組織集団の繁栄を実現する。
- 一、現状に甘んじることなく、常に目標を持って、その実現に向かって自己革新に積極的に取り組む。
- 一、地球環境の保全と、省資源化に努める。

会社概要

商号／ミマキ電子部品株式会社

設立／平成元年4月1日

資本金／7,600万円

売上高／42億円(令和5年度)

本社／〒389-0512

長野県東御市滋野乙1382番地1

工場／丸子工場 長野県上田市長瀬

東部工場 長野県東御市

北御牧工場 長野県東御市

東京北事業所 東京都北区

役員／	代表取締役会長	田中 規幸
	代表取締役社長	高野 紘
	取締役専務	渋沢 直之
	監査役(非常勤)	田中 雅幸
	監査役(非常勤)	村井 裕人

	常務執行役員	内藤 勝好
--	--------	-------

	常務執行役員	風間 久直
--	--------	-------

	執行役員	関 幸吉
--	------	------

	執行役員	小倉 光
--	------	------

従業員／195名

事業内容／ダイオードの製造

高密度実装デバイスの製造

光部品の開発・製造・販売

光伝送装置の開発・製造・販売

ハーメチックシールの開発・製造・販売

関連会社／昆山信州電子器件有限公司(中国江蘇省)

株式会社オプトハブ(さいたま市)、株式会社オプティ(千葉県)

取引先／京セラ株式会社、NECマグナスコミュニケーション株式会社

山洋電気株式会社、株式会社オプトハブ、NECプラットフォームズ株式会社

浜松ホトニクス株式会社、沖電気株式会社 他(順不同 敬称略)

会社沿革

- 昭和48年8月 御牧製作所 創業
50年 8月 有限会社ミマキエンジニアリング設立(資本金100万円)
51年10月 時計用水晶振動子の精密部品組立開始
56年 5月 社名を株式会社ミマキエンジニアリングに改称し、株式会社に変更
平成元年4月 部品事業部を分離・独立、ミマキ電子部品株式会社設立
資本金3000万円
3年 8月 東部工場にて、チップダイオード量産開始
5年 3月 丸子第二工場操業開始、水晶振動子事業拡大
7年12月 昆山信州電子器件有限公司設立
9年10月 本社工場にて光通信部品の開発・製造及び販売開始
12月 東京都渋谷区に東京支店開設
10年 3月 資本金を6000万円に増資
7月 東部工場に実装工場増築操業開始
10月 光部品部国際規格ISO9002認証取得
認証機関 ABS、QE(USA) RVA(オランダ) 認証番号 34003
11年 2月 光映像通信システム開発開始
7月 昆山信州電子器件有限公司において光通信部品の生産開始
12年 9月 資本金を7600万円に増資
14年 2月 株式会社オプトハブ設立、光通信用モジュールの開発開始
15年 5月 光部品部国際規格ISO9001:2000認証取得 認証番号 34003
17年 5月 実装事業部国際規格ISO9001:2000認証取得 認証番号 39471
18年 4月 君津事業所開設 気密端子事業操業開始
4月 ダイオード事業部国際規格ISO9001:2000認証取得 ファイル番号 A-14881
19年 2月 北御牧工場取得
8月 北御牧第二工場操業開始
20年 2月 北御牧第一工場操業開始
9月 HS事業部(君津事業所)ISO9001:2000認証取得 ファイル番号 A-17177
12月 東京北事業所開設
21年 3月 本社工場、北御牧第二工場、東京支店
ISO14001:2004認証取得 認証番号 JP09/070656
6月 横浜支店開設(横浜エレクトロン株式会社より譲受)
22年11月 ダイオード事業部ISO14001:2004認証取得 承認番号20001912UM
24年 7月 ハーメチックシール部門を丸子工場に移転、君津事業所廃止
10月 伝送システム事業部発足(旧東京支店、旧伝送システム部を統合)
25年 12月 茅野工場取得
26年 12月 株式会社オプトハブの株式100%取得
令和2年 9月 EL事業部茅野工場閉鎖、機能を北御牧工場へ移転
3年 7月 株式会社オプティの株式100%取得
EL事業部 東京支店を横浜市港北区へ移転
5年 3月 東京支店(横浜市)閉鎖、機能を北御牧工場へ移転

事業部のご案内

ダイオード事業

『大手メーカー向けの高品質なダイオードに対応しています。』



自動車、各種エレクトロニクス機器の電源に使用される、0.5A～3Aの面実装型ダイオードの製造を、ダイシングからテーピングまで完全自動化ラインにより一貫生産をしています。

また、製造製品の大半が車載用として使用されており、業界より高く信頼されています。



実装事業

『共に発展できる提案とサービスを！』

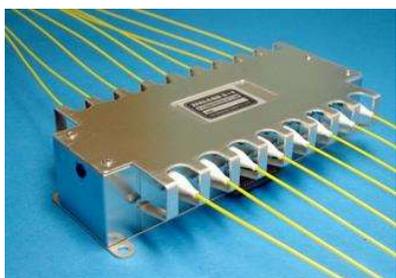


ますます軽薄短小が求められる産業界において、実装メーカーとして、各種センサー用モジュール等の超高密度実装を、COB(Chip On Board)～SMT(Surface Mount Technology)までフレキシブルにおこなっています。お客さまと共に発展できる提案とサービスを目指して、更なる事業拡大を図っております。



光部品事業

『光通信用部品技術を基盤とし、非通信分野で事業拡大』



光通信用デバイスメーカーとして事業展開するとともにその応用技術で産業機器や医療分野で新規事業を拡大しています。

その事業スタイルは顧客要求に対し提案型を方針として顧客満足度の高い光技術関連製品をメーカーとして提供しています。

伝送システム事業

「高画質時代の到来をサポート！」

Mitras

公共施設のエリア監視、ケーブルテレビ局の情報カメラシステムをはじめ球場、公営競技場などの大型スクリーンハイビジョン伝送装置の製造販売をMitras(マイトラス)の商品ブランドで、開発、製造販売まで一貫して行っています。



設置例：
ボルチモアオリオールズ球場

ハーマチックシール (HS) 事業



独自のガラス融着技術を世界市場へ！！

金属とガラスとの融着技術をベースに、ステム・レンズ等気密性の優れた製品を、製品開発から製造、販売まで一貫して行っております。各種センサーから、LED等の光部品に至るまで、幅広い需要に答えるべく、事業展開してまいります。



昆山信州電子器件有限公司

「世界のエレクトロニクス市場へ信頼のキーデバイスを提供」

中国江蘇省昆山市に製造拠点を置き、光デバイス・電源デバイス等が通信機器・電源機器の各分野のキーデバイスとして幅広く採用されています



ミマキ電子部品株式会社

本社 / 〒389-0512 長野県東御市滋野乙1382-1
[管理部]
TEL.0268-64-3218 FAX.0268-64-2669

丸子工場 / 〒386-0407 長野県上田市長瀬平戸1050
[HS事業部]
TEL.0268-75-9791 FAX.0268-75-9795

東部工場 / 〒389-0512 長野県東御市滋野乙1477-1
[光部品事業部]
TEL.0268-63-7512 FAX.0268-61-0551

北御牧工場 / 〒389-0403 長野県東御市御牧原1511
第一工場 [ダイオード事業部]
TEL.0268-61-6688 FAX.0268-61-6689
第二工場 [実装事業部]
TEL.0268-61-6181 FAX.0268-61-6184

東京北事業所 / 〒114-0001 東京都北区東十条2-14-21
高橋ビル2F
[伝送システム事業部]
TEL.03-6903-2152 FAX.03-6903-2153

